

(1) 桐椅子の製造とモニタリング調査

【成果】

◆高齢者施設で利用勝手の良い桐椅子の機能性、コストパフォーマンス評価を利用者及び施設関係者等からモニタリングすることで、今後の販路及び価格設定等について確認することができた。

① 全体総評

⇒ 椅子としての全体評価は高かった

② 安全性、快適性、デザイン性

⇒ 丸みづくりやクッションのあり方に改良点あり

③ 価格面

⇒ 希望価格4～5万円は厳しく、上限2万円程度

④ 販路

⇒ 高齢者施設への納品は難しく、桐本来の高級性を謳える販売が望ましい

【今後に向けて】

◆新たな桐使った製品での自立を検討したい。



(2) 桐たんすのリパーパス

【成果】

◆これまで廃棄されることの多かった桐たんすをリパーパスすることにより、桐たんすの利活用の幅が増えるとともに、環境負荷を少なくすることができた。また、当会の目的である「春日部地域資源」である桐たんすの利活用を多くの人たちに知ってもらおうきっかけとなった。



(一社)&暮らしの「暮らし図書室」内の移動本棚(右)



【今後に向けて】

◆たんすの概念を取り払うことで違う用途が見いだすことができそうである。

⇒ モニタリングで出されたアイディア

TVラック、ワインケース、部屋のオブジェ、ワゴン

(3)普及啓発事業

〔干支の押絵羽子板づくり教室〕

【成果】

人気の高い「干支の押絵羽子板づくり教室」を継続することができた。



(3)普及啓発事業

〔桐たんす工場見学受入〕

【成果】

今年度の事業で小学生の工場見学用に解りやすいパンフレットを突く制することができた。



【今後に向けて】 両事業については、今後も継続して実施してまいります。